

THE HEROES

注目ライダー直前インタビュー

Kawasaki PURETECH Racing

IA1 #311

西條 悠人選手

[311を忘れずに自分の夢に繋がりたい!!]



開幕戦第1ヒートでいきなりクラス初優勝!! 大倉選手を逆転で倒したレース内容も凄かった!!

初めてのコースで事前練習に行ったら雪で1日しか乗れなくて、でも壁のコーナーと相性が良く、思い通りのレースが出来ました。

このまま行くのかと思ったら、第2、第3ヒートは失速してしまっ!!

ヒート1は得意なポイントがあったので最後にそこで抜こうと狙ってたんですが、手前で大倉選手がミスしたことでも楽に勝って、ヒート2は1周目のスタート直後にニモ君とジャンプで接触して転倒。マシンと体にもダメージを負ってしまいヒート3はそれが原因で転倒と、結果を揃えることが出来ませんでした。だから初優勝出来て嬉しいよりも悔しいレースになってしまいましたね。

第2戦HSR九州は??

IA2での初優勝がHSRで得意なコースなんですが、マディに翻弄されて追い上げのレースになってしまいました。池田選手がそうだったようにスタートで前に出たら全く違う展開になったと思うんですが...

前回オフヴィの総合7位は??

スタートは悪くはなかったんですが、1コーナーの捌きが良くなって3ヒートとも追い上げのレースでしたね。最後はトラブルが出てしまって...

IA1は2シーズン目ですよね? シーズンオフにはどんな準備を??

コーチの勧めでMTBに取り組んだんです。バイクより繊細いので、バランス感覚とか体幹とかすごく理解出来るようになりました。

今年ゼッケン311を選んだ理由は?

希望ゼッケンの制度が復活するって聞いて、自分にはこれしかないって決めていました。ボクは石巻で生まれ育って、震災の時はまだ小学生で、ボクの家は海沿いじゃなかったから家族含めて無事だったけど、周りには辛い思いをした友達も沢山いて、自分が活躍する姿を見せられたらって考えたんです。忘れないで欲しいと頑張る姿を見たい。それだけです。

去年はIA1クラス1年目でランキング6位。トップカテゴリの上位で頑張ってるってことは、プロのライダー...なんだよね?

うん、どうですかね。もちろんメーカーのサポートやスポンサーさんのお陰でレースが出来てるんですけど、ギリギリの生活だし、もっと成績を出さない正直感がありますね。まずはとにかく結果です。

そもそもモトクロス始めたきっかけは何だったの?

父も母もモトクロスやって、物心付く前から週末はコースに行ってたんです。初めて乗ったのは3歳の時らしいんですけど、覚えて無いですね。自分がレースをするようになってからは父と母はサポートに回ってくれて、普段は父と遠征しますが、地元SUGOには母も応援に来てくれます。

優勝やタイトル以外に目標ってありますか?

アメリカでレースをするのが夢だった目標でもあるんですが、IA2でチャンピオンになった横山選手や中島選手が今オーストラリア選手権にチャレンジしてますよね。自分は今、夏のインターバルにスポットで参戦出来ないうか考えているんです。全日本のトップに立つこともそうだけど、夢を実現するために少しでも早く海外を経験しないと手遅れになっちゃうんじゃないかって感じていて、でも今の状況だと経済的に無理なので、この活動を応援してもらえたら有り難いです。

最後に今大会、地元SUGOでの目標をお願いします。

誰よりも走ってきた地元SUGO。マシンも身体も今まで1番調子いいんで期待してください。地元で今季2勝目と、しっかり結果をまとめて両ヒート表彰台に上がることが目標です。ヨーロッパセクションからの戻りダブルジャンプが得意なんで、毎回応援してもらえたら嬉しいです。

地元東北のライダーたちに熱つい応援頼むがんな!!

全日本初開催となった三重県いなほモータースポーツランドを皮切りに7会場9戦で行われる今シーズンの全日本。その中で2開催は埼玉のオフロードヴィレッジとここSUGOのみ。岩手藤沢での開催がないのは残念ですが、最終戦では海外トップライダーの走りが見れるし、東北のファンは恵まれてるかも!!

でも思い返すと、過去には熱田 vs. 成田の東北勢ガチ対決が見れたんですよね。ここは新たな地元スター選手の誕生が待たれるところ。

と言うわけで今回特に応援して欲しい地元ライダーですが、左のインタビューに登場頂いた西條悠人選手(#311/カワサキ)が宮城県石巻市出身で現在は仙台在住。阿部仁選手(#18/ヤマハ)は岩手県大槌町、伊藤翔太選手(#89/カワサキ)は岩手県花巻市のライダー。川口尚希選手(#41/ホンダ)は青森県八戸市から参戦。ここSUGOで育った渡辺祐介選手(#110/ヤマハ)は福島県相馬市出身で仙台在住。ちなみに渡辺選手は今大会を期に一旦活動を停止し、体制の立て直しを図るとのこと。みなさん頑張れ!!と声援を送ってくださいね。

IA2クラスでは、ここまで4度表彰台に登壇。ランキング4番手につづける横澤拓夢選手(#240/カワサキ)が岩手県紫波郡を拠点に全国を転戦。横澤選手と共に今季大活躍中の渡辺凌選手(#48/ヤマハ)は福島県相馬市在住。クラス最年少の16歳位、高校生ライダーの守大夢選手(#64/カワサキ)も福島です。

地元チームに移籍した佐々木麗選手(#50/カワサキ)と今回スポット参戦する弟の佐々木麗希選手(#77/ヤマハ)は宮城県黒川郡在住。阿部晴基選手(#73/ヤマハ)は宮城県丸森町。そしてルーキー笹谷野亜選手(#01/カワサキ)は青森のライダーです。

他にもIB OPENクラスには3名、LMXクラスには1名、ジュニアクラスとチャイルドクラスには4名の東北ライダーが出場。土曜日に行われるYAMAHA YZ125 BLU CRU Cupと日曜日のエンジョイクラスにも大勢の地元ライダーがエントリーしています。

公式プログラムには各ライダーの出身が記載されているので、走行前にエントリーリストをチェックして、地元東北のライダーにはコースサイドから一際熱い応援をお願いします。



VOICE CONTROL

レース直前、注目ライダーからの一言メッセージ

IA1 #18 阿部 仁選手

開幕戦で足の甲を怪我してしまい欠場することになりました。最終戦のSUGOでは元気な走りを見せられる様にしっかり治します。

IA1 #27 齋藤啓太選手

オフヴィとSUGOだけのスポット参戦ですが。今回は地元なのでトップ10を目標にがんばります。

IA1 #41 川口尚希選手

ここと北海道はスポット参戦する予定。怪我なく楽しく走ります。

IA1 #110 渡辺祐介選手

期待して頂いた皆さんを裏切る形になってしまいますが今シーズンはこの大会をもって、一旦ピリオドを打つことになりました。次に繋がる元気な走り、元気なレースをお見せ出来ればと思っています。

IA2 #48 渡辺 陵選手

今年は調子いいです。地元で1勝出来るよう頑張ります!!

IA2 #64 守 大夢選手

レースになると緊張で硬くなってしまおうんです。伸び伸びリラックスして、自分のベストを尽くして走りたい!!

IA2 #77 佐々木麗選手

開幕から苦戦続きですが、地元SUGOで自分を出し切って1番目立つ走りをします。弟の麗希と一緒に応援お願いします!!

IA2 #240 横澤拓夢選手

勝ちたいです! 頑張ります!!

2026 SEASON CATCH UP

IA1クラス STATS (リザルト&ポイントランキング)

Table with 11 columns (Rank, Name, Points) for IA1 class results.

IA2クラス STATS (リザルト&ポイントランキング)

Table with 11 columns (Rank, Name, Points) for IA2 class results.

第1戦 中部大会 3月15日

三重県 いなほモータースポーツランド 天候:晴れ
今季開幕戦として30年振りの復活開催となった中部大会。トリプルヒート制で行われたIA1第1ヒートは、西條が逆転でクラス初優勝。第2ヒートは大倉、第3ヒートは大城が逆転V。IA2クラスは田中と柳瀬が優勝を分け合い柳瀬が総合V。田中に続き3位表彰台に立った横澤と福村が総合3-4位。

第2戦 HSR九州大会 4月19日

熊本県 / HSR九州オールドコース 天候:雨のち曇り
IA1H1は好スタート決めた池田をパスしたジェイが逃げ切って今季初V。H2は大倉が先行、ジェイがトップを奪うも両者はアールトノースのバトルを展開。結果ジェイが1秒差で大倉を抑えトップチェッカーを受けたが、このバトルの最中ジェイに黄旗違反があったとしてレース後ジェイに1順位降格の裁定が下る。総合ではジェイが1位で大倉を抜きランキングトップに浮上した。

IA2は吉田と柳瀬が優勝を分け合い吉田が初の総合V。柳瀬がランキング首位をキープした。

第3戦 21Groupカップ 5月23~24日

埼玉県 / オフロードヴィレッジ 天候:曇り
開幕戦に続きトリプルヒート制で行われたIA1は、大城、ジェイ、大倉が優勝を分け合い、大会前に肋骨を骨折していたというジェイが2-1-2でまとめて総合V。大倉、大城に続き、好スタートを決めてH1とH3で3位表彰台を獲得した内田が総合4位。大城がこれに続きランキング4番手をキープした。

今季初のトリプルヒート制で行われたIA2は、柳瀬と田中が優勝を分け合い1-2-1位でまとめた柳瀬が開幕戦に続く今季2度目の総合V。田中に続き3ヒート全てでトップ争いを繰り広げH3で3位表彰台に上がった渡辺 陵が総合4位。トライアングを駆る小笠原が地元で総合5位に食い込む健闘を見せた。

LMXはチャンピオン川井が川上との激しいトップ争いを制して3連勝。IB OPENは外間が土曜日のH1で今季2勝目をマーク。日曜日のH2は木村が全日本初優勝をマークし、大会総合Vに輝いた。



from DIRT to DIRT (泥んこ取材記) 「タイのモトクロスがアツイ!!」



左の写真、真ん中でポーズを取ってくれたのは、前回関東大会のジュニア85ccクラスでスタートからトップ争いを繰り広げ、見事3位表彰台に上がったタイのチャンピオン、ミーピウ・タナワット選手。今季 IA1 クラスにフル参戦しているニモ君ことジラッジ・ワナラック選手もそうですが、オフヴィの翌週がタイ選手権、そして今回の SUGO と海を超えて3週連続のレースに挑みます。なぜ日本?? かと言えば、日本のモトクロスのレベルが彼らの目標にピッタリなことと、これまで数多くのライダーたちが互いに行き来してきた長い友好関係があるから。日本も暑いけど、タイのMXもかなりアツいんです!!

Kawasaki PURETECH Racing advertisement for IA2 class with contact info for You Shop.

MotorPark Mori advertisement for a motorcycle event in Fukushima.

YSP advertisement for a Yamaha race event in Fukushima.

Yamaha advertisement for a race event featuring rider Goji Kawase.

Hiro Racing advertisement for a motorcycle event in SUGO.

Technix advertisement for motorcycle suspension parts.